

石狩川水系の水質測定結果

～ 公共用水域の水質測定結果より～

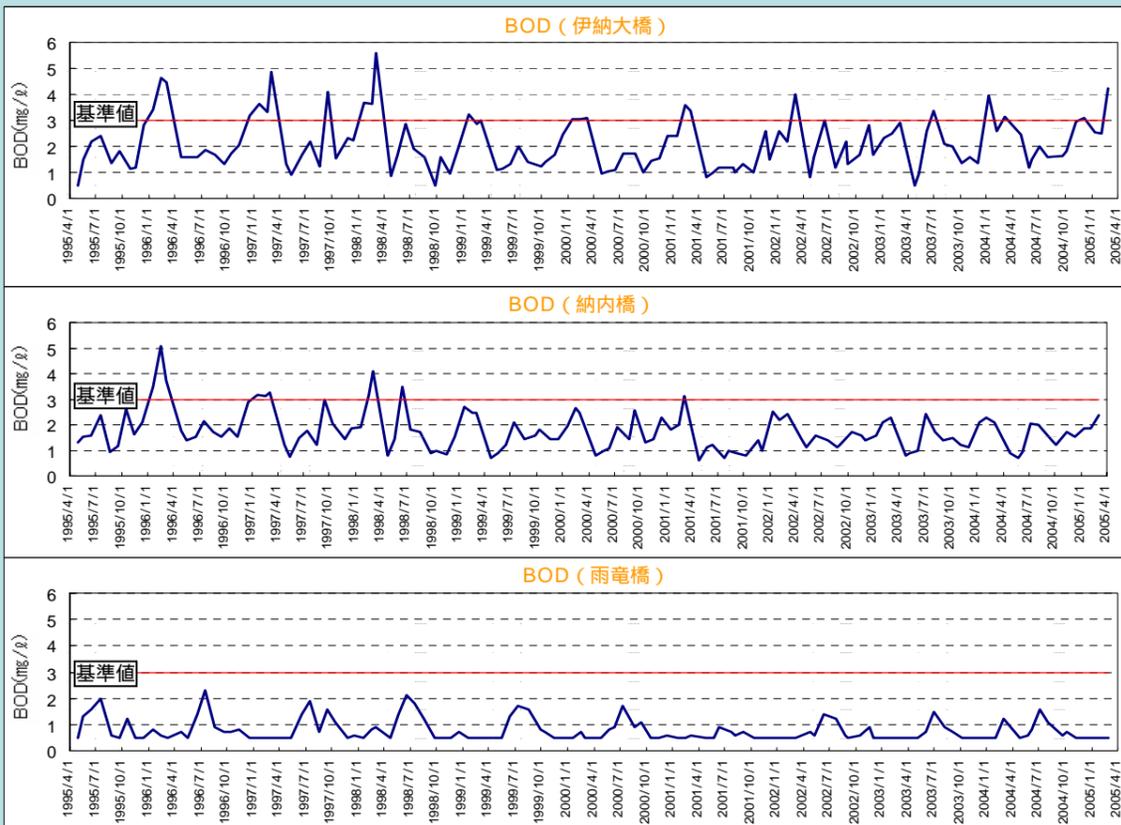
【概要】

北空知地域の大半は農業用水を石狩川から取水しています。当財団では「公共用水域の水質測定結果」（北海道環境生活部）に示された平成4年5月から平成17年3月までの14ヶ年のデータ整理を行い、石狩川の水質の季節変動および経年変化について検討しました。また、これらのデータを地図情報システムに蓄積し、水質診断位置システムに連動させ、地図上で調査地点間の水質分析結果の比較も行ってます。（人の健康の保護に関する環境基準は、別途参照）

【各調査地点の季節的变化】 BOD（生物化学的酸素要求量）：水中の有機性物質を微生物が分解するのに必要とされる酸素の量

BOD(生物化学的酸素要求量)の測定結果

網かけはかんがい期を示す かんがい期:用水路に水を通し水田まで導水している期間(5/1～8/31)
基準値は河川類型B型に従った。



伊納大橋ではかんがい期以外の期間でBOD値が大きくなる傾向があり、調査地点での基準値を超過する場合があります。

納内橋では、伊納大橋より基準値を超過する回数は減ってはいるが、BOD値が大きくなる次期の傾向は同じと考えられます。

雨竜橋では、すべての期間において調査地点の基準値を満足するが、BOD値が大きくなる時期の傾向は、他の2地点と逆で、かんがい期に大きくなる傾向があります。

【地図上でみるBOD測定結果】 : 1地点のみ基準値を超過しています。



生活環境の保全に関する環境基準 河川類型B型

項目	基準値
pH	6.5以上8.5以下
生物化学的酸素要求量 (BOD)	3mg/l以下
浮遊物質 (SS)	25mg/l以下
溶存酸素量 (DO)	5mg/l以上
大腸菌群数	5,000MPN/100ml以下

【今後の予定】

- ・ 河川水質データの追加および整理
- ・ 地下水データの入手および整理
(水質診断位置システムに追加)